物理学先端研究基礎　発表会

＜素粒子･原子核･宇宙実験分野＞

日　　時：令和2年2月21日(金)

会　　場：本館2階　284物理学系会議室

発表時間：1人15分（発表10分、議論5分）

時　間	氏　名	タ イ ト ル	指導教員
15:00-15:15	中村倫敦	"HaloSat: A CubeSat to Study the Hot Galactic Halo" P. Kaaret et al., The Astrophysical Journal, 884:162 (2019)	河合誠之

物理学先端研究基礎・物理学コロキウム第二 発表会
素粒子・原子核・宇宙理論分野

日時：2019 年 12 月 2 日（月）11:00－11:45

場所：本館 2 階 H239

発表時間：１５分（発表１０分＋議論５分）

注意：発表者は必ず最初から最後まで出席し，１人１回以上質問すること。

時間	氏名	文献	指導教員
11:00-11:15	清水 晶太	S. Shapiro and S. Teukolsky, Black Holes, White Dwarfs, and Neutron Stars, Chapter 3, White Dwarfs.	須山
11:15-11:30	倉島 怜央	N. Dorey, T. J. Hollowood, V. V. Khoze, M. P. Mattis, The Calculus of Many Instantons, Phys. Rept. 371: 231-459, 2002	今村
11:30-11:45	岩崎 倉蔵	E. Eichten, K. Gottfried, T. Kinoshita, J.B. Kogut, K.D. Lane and T.M. Yan, the Spectrum of Charmonium, Phys. Rev. Lett. 34 (1975) 369-372.	慈道

物 理 学 コ ロ キ ウ ム 第 二

＜素粒子･原子核･宇宙実験分野＞

日　　時 : 令和元年11月27日(水)

会　　場 : 本館2階　284物理学系会議室

発表時間 : 1人15分 (発表10分、議論5分)

＊注意: 4年生は最初から最後まで出席し、1人1回以上質問すること。

●セッション1(9:00-10:15) 司会:吉津文博

時 間	氏 名	タ イ ト ル	指導教員
9:00-9:15	吉川拓実	Fermi黄金律における補正項の検証に向けた電子陽電子対消滅実験	陣内
9:15-9:30	木下怜士	GAGGシンチレータを用いた運動量ベクトル測定可能なγ線検出器の開発	陣内
9:30-9:45	加藤和志	K. Morita et al., New Result in the Production and Decay of an Isotope, ^{278}113, of the 113th Element, J. Phys. Soc. Jpn. 81, 103201 (2012)	藤岡
9:45-10:00	梅津澄也	放射状に位置検出器を配置した磁気スペクトロメータの概念設計	藤岡
10:00-10:15	深田憲史	η’d束縛状態の探索に向けたγ+d反応の解析	藤岡

10:15-10:25 休憩

●セッション2(10:25-11:40) 司会:高橋康平

時 間	氏 名	タ イ ト ル	指導教員
10:25-10:40	吉津文博	崩壊π中間子分光に用いるソレノイド電磁石の磁場分布計算および磁場一様性の向上	藤岡
10:40-10:55	細川稜平	MAXIとTESSで見るX線天体の可視光とX線の変動の相関	河合
10:55-11:10	戸間紗也香	Pythonによる天体画像解析の教材作成 -GROWTH Astronomy Schoolを参考に-	河合
11:10-11:25	金山周平	ハドロンジェット対に崩壊する新粒子の発見に向けた質量再構成の改善	久世
11:25-11:40	藤上俊介	水チェレンコフ検出器への再帰反射材の応用研究	久世

11:40-11:50 休憩

●セッション3(11:50-12:50) 司会:吉川拓実

時 間	氏 名	タ イ ト ル	指導教員
11:50-12:05	高橋康平	高分解能中性子検出器HIMEの開発	中村
12:05-12:20	海老名直樹	不安定核の準弾性散乱測定用陽子検出器の開発	中村
12:20-12:35	立原浩輝	シグナルリサイクル干渉計の安定化に向けた制御技術の開発	宗宮
12:35-12:50	栗林　誠	トムソン効果がもたらす熱雑音の考察	宗宮

会 場 係 : 準備＞立原浩輝, 栗林 誠
片付＞金山周平, 藤上俊介

物理学先端研究基礎・物理学コロキウム第一、第二プログラム（物性実験分野）

■日時　　令和元年 12 月 5 日（木）9:00-

■会場　　本館２階 284A　物理学系輪講室

■発表時間　先端研究基礎・物理学コロキウム第一　講演 10 分、討議 5 分

物理学コロキウム第二　　ポスター発表１時間

※注意（発表者の皆さんへ）

＊このプログラムのすべての発表に参加すること。

＊一人３回以上質問すること。

＊自分を除く発表すべてについて、感想・意見を記入し、終了後に提出すること。

司会　金森研　松村君 / 時計　平山研　山崎君

発表時間	発表者	発表論文名	指導教員
9：00-9：15	坪井俊太朗	“Tutorial: An introduction to terahertz time domain spectroscopy (THz-TDS)” , Jens Neu and Charles A. Schmuttenmaer, J. Appl. Phys. 124, 231101 (2018)	佐藤
9：15-9：30	イリーン ヴャチェスラフ	“Ising Superconductivity and Quantum Phase Transition in Macro-Size Monolayer NbSe2”, Y. Xing et al. Nano Lett. 17, 6802 (2017)	平原
9：30-9：45	瀬戸亮太	“Mapping Image Potential States on Graphene Quantum Dots” F. Craes et al.　Phys. Rev. Lett.111, 056804 ‘2013)	平山
9：45-10：00	加藤潤一	“Precisely and accurately localizing single emitters in fluorescence microscopy” H. Deschout et al. Nature Methods, 11, 253 - 266 (2014)	松下
10：00-10：15	舩橋昇太郎	“New Phenomenon in Narrow Germanium p-n Junctions” L. Esaki, Phys. Rev. 109, 603 (1958).	宗片

（休憩）10:15-10:40

ポスターセッション（10:40-11:40）

番号	発表者	発表タイトル	指導教員
1	村松秀紀	二重共鳴分光法による三重項励起状態アセチレンの未帰属スペクトルの同定	金森
2	山浦涼太	赤外吸収分光法を用いたパラ水素結晶中におけるアンモニア分子の反転運動の研究	金森
3	山崎泰明	UHVコンパチブルなCu基板上へのグラフェン成長方法	平山